

平成31年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「共同利用型」の個人による研究 研究報告書

令和2年4月16日現在

研究課題名	ロシア連邦の共和国によるディアスポラ政策： 文化・言語振興政策を中心に	
申請者	氏名	所属機関・職
	櫻間 瑞希	筑波大学 人文社会科学研究科 博士後期課程

研究成果の概要

本研究課題は、ロシア連邦、およびロシア連邦構成主体である各民族共和国が、国内外の民族ディアスポラに対して実施する文化・言語振興政策の内容およびその実施状況を考察することを目的としている。

これらの政策プログラムの枠組みで実施される行事や支援に関しては断片的に報道はなされるものの、その具体的な内容や理念に関する情報は非常に少ない状況にある。こうした問題意識から生じた本研究課題の目的に鑑み、2度の滞在期間中は資料収集に主眼を置いた。具体的には、ロシア外務省が発行する関連雑誌や、北海道大学にのみ所蔵が確認されているロシア語雑誌・書籍等を閲覧・複写した。資料収集を進めるなかで、ロシア国内の各民族共和国が実施するディアスポラ政策の多くは、ある程度の独自性は持ちながらもロシア連邦が実施するディアスポラ政策のなかで実施されている、あるいはその方向性を踏襲しながら展開されている可能性にいき当たり、とりわけ2度目の滞在期間中はロシア連邦のディアスポラ政策に関する資料を中心に収集した。ロシア連邦が実施するディアスポラ政策に関しては、ルースキー・ミール(Русский мир)の概念に関しても検討する必要性もあることから、今後の課題としたい。

なお、本研究課題は今年度から取り組み始めたものであり、現在は先行研究を含む基本的な情報を収集し、整理する段階にある。ゆえに、研究を進めるにあたって基本となる文献収集が必要な状況にあったが、本助成は今後の新たな成果公開に向けて重要な機会を与えてくれた。末筆ながら、全滞在期間においてお世話になったセンター事務室および附属図書館の皆さまに深く御礼を申し上げます。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

現時点（2020年4月現在）は該当なし。

2020年度以降に複数の研究会・学会での発表に向けて準備中。

当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）

該当なし

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。